

2025 年度 就職先（2024 年度卒業生）アンケート報告書

川崎医療福祉大学

FD・SD 委員会

本学卒業生が社会に出て半年経過した時点で、卒業生を受け入れた就職先に対し、本学卒業生をどのように評価しているかを確認するためにアンケート調査を行っている。この調査は、2006 年度（平成 18 年度）より始まり、2018 年度（平成 30 年度）までは 3 年に一度の実施であったが（この間に 5 回実施）、2020 年度（令和 2 年度）からは、「1. 実施方法」の通り毎年実施している。アンケート内容については、2025 年度（令和 7 年度）より、「採用にあたり重視している項目」と「入職した学生が身につけている度合い」の項目を時代の変化にあわせて修正した。

1. 実施方法

1-1 実施対象と方法

2024 年度の卒業生の就職先としてアンケートを依頼した対象は 458 施設（企業）（前回 494 施設（企業））であり、送達不能が 3 件であった。本学就職課からの情報に基づきアンケート依頼を就職先へ郵送し、Google Forms を使用して、オンラインにて回答いただいた。質問項目は巻末の資料 1 の通りである。

1-2 実施日

2025 年 12 月 1 日（月）～2026 年 1 月 4 日（日）

2. 実施結果

2-1 回収率

アンケートの回答数は 176 件で、回収率は 38.68%であった。前回（35.02%）と比較するとやや増加した。

2-2 回答施設（企業）の業種（表 1-1）

回答のあった施設（企業）の業種は医療機関が 48.86%と最も多く、次いで福祉施設が 21.59%、一般企業が 13.07%、一般企業（医療福祉系）が 7.39%、その他が 9.09%であった。

2-3 2025 年 12 月 1 日時点、卒業生の人数（表 1-2）

回答のあった施設（企業）における本学卒業生の勤務者数は 1～5 人の割合が 57.39%と最も多く、次いで 11 人以上が 22.16%、6～10 人が 14.20%、0 人が 2.27%、不明が 3.98%であった。

2-4 2025 年 12 月 1 日時点、今年度入職した卒業生で、すでに退職した者の人数（表 1-3）

退職者数は、0 人が 73.30%と最も多く、次いで 1～5 人が 19.32%、6～10 人が 0.57%、不明が 6.82%であった。

2-5 採用にあたり重視している点（表 1-4）

採用の際、以下の各項目について、どの程度重視しているかについて、就職先に 5 段階で評価してもらった結果、以下のとおりであった。

- ・ Q4-①基礎学力と一般常識 平均 3.90 であった。
- ・ Q4-②専門知識と技術 平均 3.56 であった。
- ・ Q4-③学習・研鑽意欲 平均 4.19 であった。
- ・ Q4-④コミュニケーション能力・協調性 平均 4.66 であった。
- ・ Q4-⑤人間性・共感力 平均 4.53 であった。
- ・ Q4-⑥状況判断能力と自発的対応力 平均 4.05 であった。
- ・ Q4-⑦マナー・礼儀 平均 4.33 であった。
- ・ Q4-⑧職業的倫理観と責任感 平均 4.21 であった。
- ・ Q4-⑨リーダーシップ（協働的主導力） 平均 3.60 であった。
- ・ Q4-⑩ロイヤリティ（組織貢献意識） 平均 3.83 であった。
- ・ Q4-⑪自己管理能力 平均 4.02 であった。
- ・ Q4-⑫体力と持久力 平均 3.70 であった。
- ・ Q4-⑬精神的安定性とストレス対処力 平均 4.07 であった。

スキル別に 4.5 以上と特に重視された項目は、「④コミュニケーション能力・協調性」4.66 と「⑤人間性・共感力」4.53 であった。一方、3.5 未満の重視されない項目はなかった。

2-6 2025 年度に入職した卒業生のスキル度（表 1-5）

2-5 で示した各項目について、2025 年度に入職した卒業生がどの程度身につけているかについて、就職先に 5 段階で評価してもらった結果、以下のとおりであった。

- ・ Q5-①基礎学力と一般常識 平均 4.05 であった。
- ・ Q5-②専門知識と技術 平均 3.81 であった。
- ・ Q5-③学習・研鑽意欲 平均 3.99 であった。
- ・ Q5-④コミュニケーション能力・協調性 平均 4.11 であった。
- ・ Q5-⑤人間性・共感力 平均 4.10 であった。
- ・ Q5-⑥状況判断能力と自発的対応力 平均 3.63 であった。
- ・ Q5-⑦マナー・礼儀 平均 4.08 であった。
- ・ Q5-⑧職業的倫理観と責任感 平均 3.89 であった。
- ・ Q5-⑨リーダーシップ（協働的主導力）平均 3.29 であった。
- ・ Q5-⑩ロイヤリティ（組織貢献意識）平均 3.52 であった。
- ・ Q5-⑪自己管理能力 平均 3.70 であった。
- ・ Q5-⑫体力と持久力 平均 3.74 であった。
- ・ Q5-⑬精神的安定性とストレス対処力 平均 3.79 であった。

スキル別に 4.0 以上の評価を得た項目は、「④コミュニケーション能力・協調性」4.11、「⑤人間性・共感性」4.10、「⑦マナー・礼儀」4.08、「①基礎学力と一般常識」4.05 であった。一方、「⑨リーダーシップ（協働的主導力）」3.29 は唯一、3.5 未満の低い評価であった。

2-7 本学のディプロマ・ポリシーの達成度（表 1-6）

本学の 4 つのディプロマ・ポリシーの達成度について、就職先に 5 段階で評価してもらった結果、以下のとおりであった。

- ・ Q8-①「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」

平均 3.72（前回 3.87）であった。

- ・ Q8-②「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。」

平均 3.63（前回 3.83）であった。

- ・ Q8-③「医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」

平均 3.49（前回 3.54）であった。

- ・ Q8-④「4 年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」

平均 3.44（前回 3.50）であった。

ディプロマ・ポリシー別、職種別に 4.0 以上の高い評価を得た項目はなく、また、3.0 未満の低い評価を受けた項目はなかった。

2-8 本学卒業生に対する施設（企業）の満足度（表 1-6、グラフ 1）

回答のあった施設（企業）のうち、本学卒業生に対する満足度は 5 段階評価で平均 4.17（前回 4.12）と比較的高かった。ほとんどの業種で平均 4.0 を超えていたが、唯一、一般企業（医療福祉系）が 4.0 を切っていた（3.83）。また、割合としても 85.38% の企業が、「大変満足」「まずまず満足」を選んでおり、概ね、本学の卒業生の評価は高いと考えられる。

また、満足度を目的変数とし、卒業生のスキル度 13 項目を説明変数として重回帰分析を行った結果、「③学習・研鑽意欲」および「④コミュニケーション能力・協調性」の 2 項目のみが統計的に有意な影響を示し、いずれも単相関で 0.6 以上、偏相関でも 0.27 以上と比較的高い関連が認められた。この結果から、施設（企業）の満足度は知識・技能そのものよりも、主体的に学び続ける姿勢や他者と円滑に協働する力といった非認知的能力により、規定されている可能性が示された。

2-9 (1) リスキリング（職業能力の再開発・再教育）の必要性（表 1-7）

回答のあった施設（企業）のうち、職員・従業員のリスキリング（職業能力の再開発・再教育）が必要だと考えると回答した割合は 58.52%、考えないと回答した割合は 41.48%であった。業種により認識が異なっており、一般企業（医療福祉系）では 69.23%、その他では 68.75%が必要と考えているが、福祉施設で必要と考えているのは、52.63%であった。

2-9 (2) 仮に本学にリスキリングに資する教育プログラムの開講を依頼する場合、希望する内容

別途保管する。

3. 自由記述

高評価や期待を述べる施設・企業が多かった。自由記述をまとめたものについては、別途保管する。

4. まとめ

アンケートに回答いただいた全 176 施設のうち約 20%の企業・施設で 1 年未満の離職者があったことから、採用の際の学生と施設とのマッチングについてより詳細な検討が必要と感じられた。

次に、採用にあたり重視している点については、本学が養成しようとする人材像にもある「コミュニケーション能力・協調性」「人間性・共感性」が、就職先においても強く求められており、全体では 4.5 以上の値であった。項目別の本学の卒業生が身につけている程度については、5 段階評価の平均で、「コミュニケーション能力・協調性」4.11「人間性・共感性」4.10 と他項目と比べて高い評価であり、求められている人物像との本学の教育方針の整合性が、ある程度、とれていると考えられるが、さらにこれらの能力をを上げるべく工夫をすすめたいと考える。

就職先の総合的な評価は、おおむね満足との回答を得られたが、やや不満足、大変不満足、の回答があった 8.20%に対して、今後何らかの対策を講じる必要があると考える。重回帰分析により、施設（企業）の満足度は知識・技能そのものよりも、主体的に学び続ける姿勢や他者と円滑に協働する力により、規定されている可能性が示された。多様な学生の特徴を見極め、個々の学生の足りないところを補いつつ、強みをしっかりと伸ばしていけるよう、教育や就職支援について連携した取り組みが必要であろう。

表 1

1. 業種別割合

	件数	割合
a 医療機関	86	48.86%
b 福祉施設	38	21.59%
c 一般企業（医療福祉系）	13	7.39%
d 一般企業	23	13.07%
e その他	16	9.09%
総計	176	100.00%

2. 勤務者数

	a 0人	b 1~5人	c 6~10人	d 11人以上	e 不明	総計
a 医療機関		49	11	21	5	86
b 福祉施設	1	24	6	7		38
c 一般企業（医療福祉系）	2	7	1	3		13
d 一般企業		15	5	3		23
e その他	1	6	2	5	2	16
総計	4	101	25	39	7	176
割合	2.27%	57.39%	14.20%	22.16%	3.98%	100.00%

3. 今年度入職した卒業生の退職者数

	a 0人	b 1~5人	c 6~10人	d 11人以上	e 不明	総計
a 医療機関	61	20			5	86
b 福祉施設	29	7			2	38
c 一般企業（医療福祉系）	10	1	1		1	13
d 一般企業	18	4			1	23
e その他	11	2			3	16
総計	129	34	1	0	12	176
割合	73.30%	19.32%	0.57%	0.00%	6.82%	100.00%

4. 採用に当たり重視している点

	①基礎学力と一般常識	②専門知識と技術	③学習・研鑽意欲	④コミュニケーション能力・協調性	⑤人間性・共感力
a 医療機関	4.01	3.84	4.23	4.60	4.48
b 福祉施設	3.82	3.66	4.16	4.68	4.55
c 一般企業（医療福祉系）	3.92	3.08	4.31	4.54	4.54
d 一般企業	3.61	2.57	4.22	4.87	4.65
e その他	3.94	3.69	3.94	4.75	4.63
総計	3.90	3.56	4.19	4.66	4.53
	⑥状況判断能力と自発的対応力	⑦マナー・礼儀	⑧職業的倫理観と責任感	⑨リーダーシップ（協働の主導力）	⑩ロイヤリティ（組織の貢献意識）
a 医療機関	4.01	4.34	4.19	3.69	3.83
b 福祉施設	4.11	4.34	4.26	3.61	3.87
c 一般企業（医療福祉系）	4.00	4.23	4.31	3.62	3.92
d 一般企業	4.09	4.39	4.13	3.35	3.70
e その他	4.13	4.25	4.25	3.44	3.88
総計	4.05	4.33	4.21	3.60	3.83
	⑪自己管理能力	⑫体力と持久力	⑬精神的安定性とストレス対処力		
a 医療機関	4.05	3.83	4.06		
b 福祉施設	3.95	3.61	4.11		
c 一般企業（医療福祉系）	4.00	3.69	4.15		
d 一般企業	3.96	3.43	4.04		
e その他	4.13	3.63	4.00		
総計	4.02	3.70	4.07		

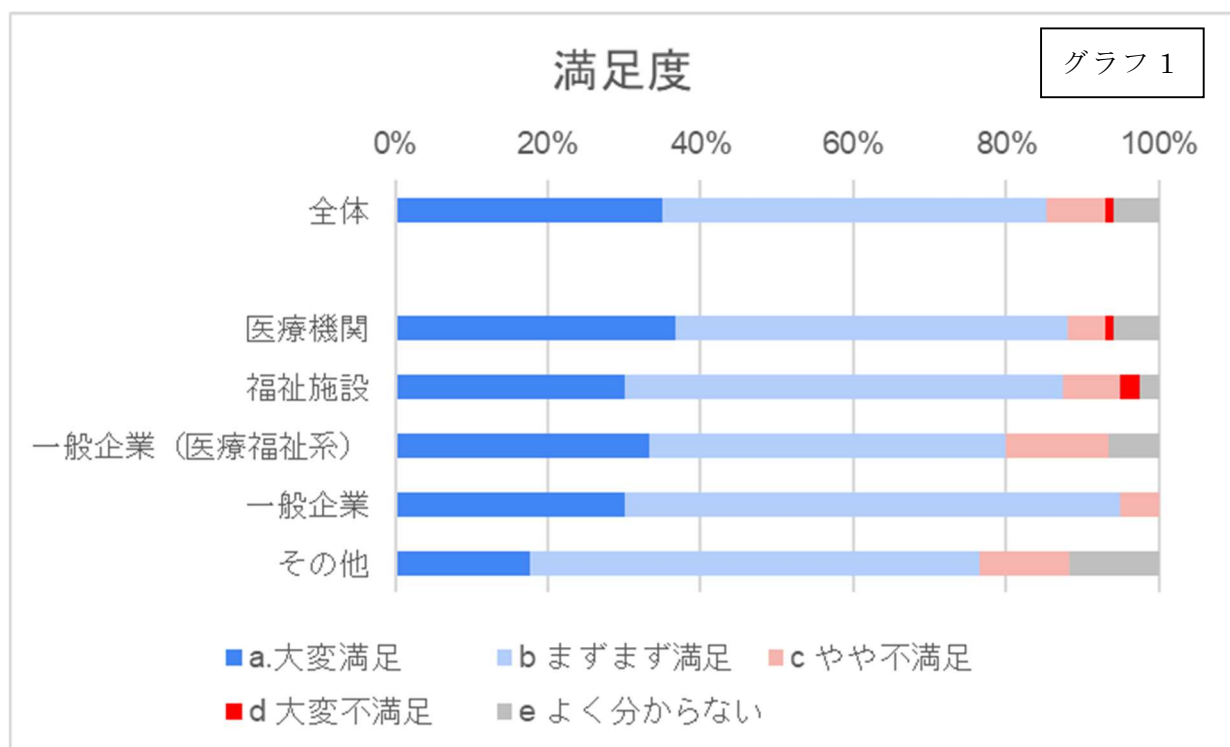
5. 卒業生の身につけている程度

	①基礎学力と一般常識	②専門知識と技術	③学習・研鑽意欲	④コミュニケーション能力・協調性	⑤人間性・共感力
a 医療機関	4.09	3.91	3.94	4.07	4.05
b 福祉施設	4.06	3.81	4.06	4.03	4.11
c 一般企業（医療福祉系）	4.08	3.92	4.08	3.85	3.92
d 一般企業	3.96	3.35	3.91	4.48	4.30
e その他	3.93	3.86	4.14	4.14	4.21
総計	4.05	3.81	3.99	4.11	4.10
	⑥状況判断能力と自発的対応力	⑦マナー・礼儀	⑧職業的倫理観と責任感	⑨リーダーシップ（協働の主導力）	⑩ロイヤリティ（組織の貢献意識）
a 医療機関	3.65	4.09	3.96	3.37	3.52
b 福祉施設	3.61	4.03	3.81	3.11	3.50
c 一般企業（医療福祉系）	3.54	4.08	3.92	3.15	3.31
d 一般企業	3.65	4.17	3.83	3.30	3.52
e その他	3.64	4.00	3.79	3.43	3.79
総計	3.63	4.08	3.89	3.29	3.52
	⑪自己管理能力	⑫体力と持久力	⑬精神的安定性とストレス対処力		
a 医療機関	3.77	3.77	3.79		
b 福祉施設	3.56	3.50	3.69		
c 一般企業（医療福祉系）	3.54	3.77	3.83		
d 一般企業	3.70	3.96	4.00		
e その他	3.79	3.86	3.64		
総計	3.70	3.74	3.79		

6. 7.ディプロマ・ポリシー達成度および満足度

	DP達成度				満足度
	①	②	③	④	
a 医療機関	3.69	3.65	3.62	3.58	4.21
b 福祉施設	3.63	3.58	3.53	3.42	4.16
c 一般企業（医療福祉系）	3.92	3.77	3.54	3.54	3.83
d 一般企業	3.83	3.48	2.96	2.87	4.35
e その他	3.75	3.69	3.44	3.44	4.00
総計	3.72	3.63	3.49	3.44	4.17

7. 満足度



8 (1) . リスキリングの必要性

	a はい	b いいえ
a 医療機関	56.98%	43.02%
b 福祉施設	52.63%	47.37%
c 一般企業（医療福祉系）	69.23%	30.77%
d 一般企業	60.87%	39.13%
e その他	68.75%	31.25%
総計	58.52%	41.48%

2025年度 就職先(2024年度卒業生)アンケート質問項目一覧

Q1【貴施設・貴社の業種をお教えてください。】

- a 医療機関 b 福祉施設 c 一般企業(医療福祉系) d 一般企業 e その他

Q2【2025年12月1日現在、貴施設・貴社には本学の卒業生が何人程度勤務していますか。】

- a 0人 b 1～5人 c 6～10人 d 11人以上 e 不明

Q3【2025年12月1日現在、今年度貴施設・貴社に入職した本学の卒業生について退職者の人数をわかる範囲でa～eでお答えください。退職者がいない場合はa 0人を選択してください。】

- a 0人 b 1～5人 c 6～10人 d 11人以上 e 不明

Q4【採用にあたり次の項目についてどの程度重視していますか。a～eの5段階でお答えください。】

- a 非常に重視している b 重視している c どちらともいえない d あまり重視していない e 重視していない
- ① 基礎学力と一般常識 ② 専門知識と技術 ③ 学習・研鑽意欲 ④ コミュニケーション能力・協調性 ⑤ 人間性・共感性
⑥ 状況判断能力と自発的対応力 ⑦ マナー・礼儀 ⑧ 職業的倫理観と責任感 ⑨ リーダーシップ(協働的主導力) ⑩ ロイヤリティ(組織貢献意識)
⑪ 自己管理能力 ⑫ 体力と持久力 ⑬ 精神的安定性とストレス対処力

Q5【2025年度に入職した本学の卒業生は次の項目についてどの程度身につけていると思いますか。a～eの5段階でお答えください。】

- a 十分身につけている b やや身につけている c どちらともいえない d あまり身につけていない e 全く身につけていない
- ① 基礎学力と一般常識 ② 専門知識と技術 ③ 学習・研鑽意欲 ④ コミュニケーション能力・協調性 ⑤ 人間性・共感性
⑥ 状況判断能力と自発的対応力 ⑦ マナー・礼儀 ⑧ 職業的倫理観と責任感 ⑨ リーダーシップ(協働的主導力) ⑩ ロイヤリティ(組織貢献意識)
⑪ 自己管理能力 ⑫ 体力と持久力 ⑬ 精神的安定性とストレス対処力

Q6【本学が養成しようとする人材像は以下のとおりですが、2025年度に入職した本学の卒業生は、①～④それぞれの能力をどのくらい職場で発揮できていますか。a～eの5段階でお答えください。】

- a 十分発揮できている b やや発揮できている c どちらともいえない d やや発揮できていない e 全く発揮できていない
- ①「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」
②「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につける。」
③「医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」
④「4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」

Q7【2025年度に入職した本学の卒業生を総合的に評価して、どの程度満足されていますか。a～eの5段階でお答えください。】

- a 大変満足 b まずまづ満足 c やや不満足 d 大変不満足 e よく分からない

Q8【リスクリング(職業能力の再開発・再教育)についてお答えください。(1)でaはいと回答された場合のみ、(2)について回答してください。】

(1)貴施設・貴社では、職員・従業員のリスクリングが必要だと考えていますか。

- a はい b いいえ

(2)本学は、医療、福祉、医療福祉、教育、情報、医療福祉経営などの分野の教育を行っています。仮に、貴施設・貴社の職員・従業員を対象として本学にリスクリングに資する教育プログラムの開講を依頼するとしたら、どのような内容(分野・具体的な資格など)を希望されますか。ご自由にお書きください。

Q9【本学の卒業生に対して何かご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。】


<https://forms.gle/pCMuUu71mbYnJT6e8>

回答締切: 2026年1月4日(日)